

た か だ こ ら む

メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2022 第47回プラントメンテナンスショーに出展

当社は、製鉄・化学・石油化学など様々な産業分野において設備の設計から製作、建設、メンテナンスまで行っています。その中でも特に、回転機械の診断技術や静止機器・配管に対する腐食損傷解析技術においては、長年にわたって研究開発を重ね、お客様設備の延命化に努め「メンテナンスの最適化」を追求しています。

今回のプラントメンテナンスショーでは、当社のメンテナンス技術の中から、「電流情報量診断システム（T-MCMA®）」、「キャビテーション解析」、「損傷解析技術」を展示・紹介し、2022年7月20日～22日の3日間で、延べ約700名の方に来場いただきました。

また、出展者セミナーで講演を行いました。

展示会では、技術を紹介するだけでなく、お客様が抱えられている課題やご要望を直接お聞きすることができ、大変貴重な機会となりました。今後も技術開発に取り組むとともに、当社の技術が課題解決のお役に立てるよう、またお客様のご要望に応じていけるように、挑戦し続けていきたいと考えております。

石橋 浩美（技術本部 診断サービス技術部）

展示・紹介した技術概要

電流情報量診断システム (T-MCMA®)	三相誘導モータに流れる電流を計測したデータをクラウドの解析ソフトで解析を行い、回転機械の状態監視を行う技術。化学プラントや社会インフラなどで、設備の定期的な状態モニタリングや異常発生時の精密診断に使用
キャビテーション解析	キャビテーションユニットを用いて、振動診断では解析できないキャビテーションを電流情報量診断システムで確認できることを実演
損傷解析技術	応力腐食割れや微生物腐食など、お客様の設備で発生した金属材料の破壊や損傷の原因を究明し、対応策や改善策の提案および、施工

出展者セミナーの講演概要

テーマ：電流情報量診断の基礎と概要	当社が開発した電流情報量診断システムについて、その技術の原理、インターフェイスの紹介・特徴、検証事例、TM-CLOUD®の紹介
テーマ：電流情報量診断による精密診断と診断実績の概要	T-MCMA®による精密診断方法と実験検証および、現場診断実績の概要と診断事例について説明



展示ブース



キャビテーションユニット